

あびこスゴロク制作事業（まちづくり探検隊）

自治体情報 **千葉県我孫子市**

人口 / 133,749人 標準財政規模 / 22,690百万円

- 担当課** 子ども部子ども支援課
- 電話番号** 代表 04-7185-1111
- 実施主体** 我孫子市
- 関連ホームページ** <http://www.city.abiko.chiba.jp/index.cfm/19,91231,207,730.html>
- 事業期間** 平成23年度から
- 関係施策分類**

予算関連データ

総事業費：964千円（H24）

名称	所管	金額（千円）
一般財源	-	964

施策のポイント

アビコ・スゴロクは、提案から完成まで2年をかけ、小中学生の有志、市民団体、市が制作した。我孫子を旅するように進むコマ、クイズや豆知識・アクションが起こるマス、楽しいデザインで、多くの反響を頂いている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

子どもたちの市政参画の会議として平成23年度から「まちづくり探検隊」が始まった。小学5年生から中学3年生までの22名が、我孫子の現状を学び、まちをもっと元気にするために子どもたちができること、大人に手伝ってほしいことを提案。子どもたちの提案のうち、「アビコ・スゴロク」が採用された。

2. 取組の具体的内容

平成24年度、提案をした子どものうち16名が集まりあびこスゴロク制作会議を行った。スゴロク面では、マスになるクイズ・豆知識について小中学生から1,909件の応募があり、子どもたちが30件に選考した。また会議で、アクションが起こるマス、デザインのアイデアを出し合い、スゴロクに取り入れた。裏面は市民団体と市が協力して、子どもが興味を持てる内容に工夫し「知ってほしいあびこのこと」を完成させた。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

鮮やかなデザイン、子どもが読み進められる楽しい内容で、イベント等で配布する観光パンフレットと同等かそれ以上の完成度を目標とした。また小学校全児童と中学校全生徒に配布し、郷土学習等で活用することで、ふるさとへの誇りを育む効果が期待されている。

4. 現在までの実績・成果

8月末完成で1万5千部印刷し、すでに残り2千部を切っている。新聞報道やSNSによって他市・他県からの問い合わせも多い。今後はイベント等で配布し、多くの方にスゴロクで我孫子をアピールしたい。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

限られた回数で完成度を高めるために、子どもの意見を全て入れることはできないが、子どもたち自身が作ったと実感してもらうために、会議の進め方を工夫する必要があった。子どもの活動にノウハウがある市民団体や、教育委員会、商業・文化等の各課の職員が協力して、最大限に子どもたちの意見を活かすことができた。

6. 今後の課題と展開

「アビコ・スゴロク」は、平成25年度の小学新1年生全児童にも配布予定である。子どもたちがたくさん遊んで、我孫子の観光大使になってもらえるように、学校と連携して、継続的に取り組んでいきたい。

また、「まちづくり探検隊」は今後も継続して実施し、25年度には新たに隊員を募集・提案されたものを26年度に事業展開する予定である。